

クロスメディアで戦略的コミュニケーションを支援



AD menu

● 広告料金

料金の単位:千円

スペース	掲載料金(円)			原稿サイズ(天地cm×左右cm)	
	通常	3回	6回	ブリード版	枠付
表4	1,280	1,241	1,217	27.0×19.5	25.5×18.0
表3	880	853	837	28.0×21.0	26.0×19.0
表2	956	927	910	28.0×21.0	26.0×19.0
表2見開き	1,911	1,853	1,817	28.0×42.0	26.0×40.0
第2表2見開き	1,720	1,668	1,635	28.0×42.0	26.0×40.0
センター4C 2P	1,850	1,794	1,758	28.0×42.0	26.0×40.0
4C 1P	810	785	770	28.0×21.0	26.0×19.0
2C 1P	610	590	575	28.0×41.0	26.0×19.0
モノクロ 1P	560	545	525	28.0×41.0	26.0×19.0
モノクロ 1/2P	325	320	300	—	縦型 24.5×8.5 横型 12.0×17.2
モノクロ 1/3P	245	239	230	—	24.5×5.5

※ブリード版の場合は切り取られて困るものは天地左右各10mm以上を内側に入れてください。
 ※目次対向面の料金は上記料金の10%増とします。
 ※掲載場所の指定は適用料金の10%を加算します。
 ※第2表2見開きに関しては、制作上の制約がありますので事前にご相談ください。

ハガキ (一葉)	4C×1C	2C×1C	1C×1C	寸法(天地×左右)mm
	880,000円	806,000円	744,000円	100×148



世界の医学・医療を知る

MMMJ
The Mainichi Medical Journal

MEDIA DATA

毎日新聞社が発行する
確かな総合医学情報誌



MMJとは?

媒体概要

創刊：2005年4月
 発行部数：50,000部
 対象読者：医師(主に30~50代の勤務医、開業医)
 判型：変形A4判、約90ページ(天地280mm×左右210mm)
 発行形態：隔月刊(偶数月の各月15日発行)
 定価980円/年間5,880円

MMJ編集委員会

編集委員長 岩田 誠 東京女子医科大学名誉教授・神経内科学
編集委員 相川 直樹 慶應義塾大学名誉教授・救急医学
 門脇 孝 東京大学大学院医学部 研究科教授 糖尿病学/代謝学
 土屋 了介 神奈川県立病院機構理事長
 豊岡 照彦 東京大学名誉教授・循環器内科学/分子生物学
 松尾 宣武 国立成育医療研究センター名誉総長・小児科学
最高顧問 横倉 義武 日本医師会会長・外科学
顧問 松原 謙二 日本医師会副会長・内科学
 羽鳥 裕 日本医師会常任理事・循環器内科学

MMJの特長

2

世界の医学・医療情報を、日本語でわかりやすく、正確に。

5大医学誌から、日本の臨床現場に必要なと思われる最新情報・論文をピックアップして掲載。アブストラクトをわかりやすく日本語訳してあるので、忙しい医師が必要な情報を探すのに適しています。

選定対象の主な医学誌
 「JAMA」「BMJ(British Medical Journal)」「Lancet」「New England Journal of Medicine」「Annals of Internal Medicine」

4

日本医師会が医師の生涯教育に活用。

世界の医学・医療ニュースがコンパクトにまとまっているMMJは、日本医師会(会員数約17万人)から高く評価され、「医師の生涯教育に活用したい」との申し入れがありました。

1

JAMA日本語版をさらに進化。

1980年以来、日本医師会と毎日新聞社が共同編集・発行してきたJAMA(米国医師会雑誌)日本語版のノウハウを引き継ぎ、2005年にMMJとして創刊。米国のみならず世界の医学・医療情報が載るようになりました。

3

毎日新聞社が発行する確かな総合医学情報誌。

新聞社ならではの確かな情報力と信頼性をもとに編集しています。海外の論文は、豊富な知識と経験を持つ医師によるMMJ編集委員会が選定。特に重要度の高い論文に付く第一人者が執筆する解説は「理解が進む」と好評です。

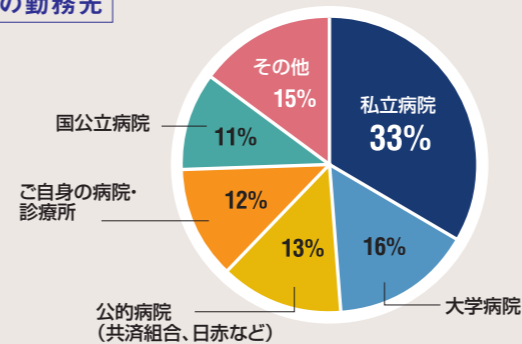
5

日本の医療に欠かせない独自記事も好評。

MMJでは、世界の医学・医療情報とともに、独自の情報も掲載。医学を取り巻く倫理的な問題、さらには医療事故や安全対策など、今、そしてこれからの医療に必要な情報をお届けしています。

ターゲットは医師。確実にリーチ。

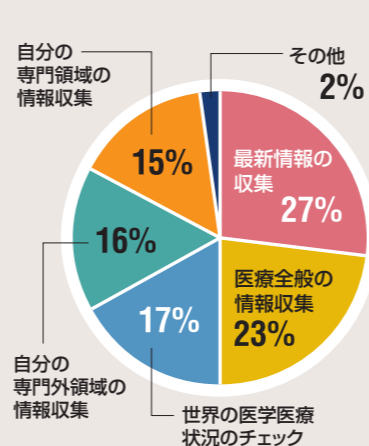
読者の勤務先



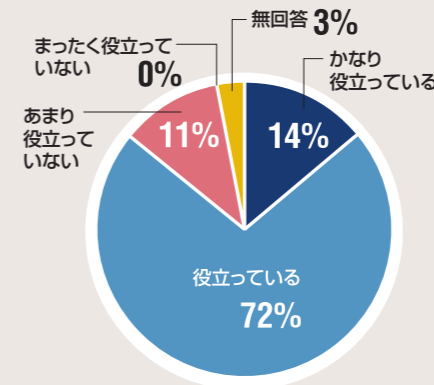
担当診療科目

一般内科/内科一般	小児科	整形外科
消化器内科/消化器外科	内分泌科/糖尿病科	産科/婦人科/産婦人科
神経内科/脳神経外科	精神神経科/心療内科	泌尿器科
循環器内科/循環器外科	耳鼻咽喉科/耳鼻科	皮膚科/アレルギー科
呼吸器内科/呼吸器外科	眼科	その他

MMJを読む目的は?



役立っているか?

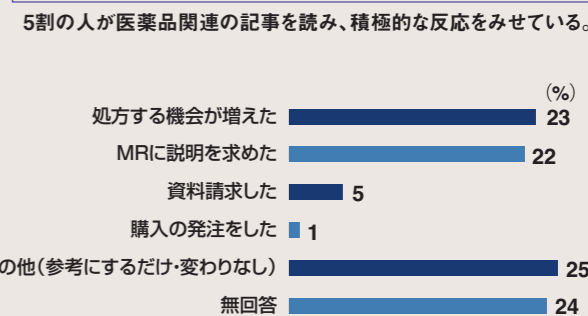


医師向け商材に力を発揮。

関心のある広告は?



医薬品関連の記事を読んだ際の対応は?



代表的な送付先医療施設

北海道
 北海道大学病院/札幌医科大学附属病院/旭川医科大学病院/市立札幌病院/手稲溪仁会病院/JA北海道厚生農業協同組合連合会札幌厚生病院/JA北海道厚生連旭川厚生病院/市立函館病院/市立旭川病院/市立室蘭総合病院

東北地方
 東北大学病院/岩手医科大学附属病院/弘前大学医学部附属病院/福島県立医科大学附属病院/秋田大学医学部附属病院/山形大学医学部附属病院/青森県立中央病院/山形県立中央病院/秋田赤十字病院/仙台市立病院

関東地方
 筑波大学附属病院/埼玉医科大学病院/自治医科大学附属病院/獨協医科大学病院/北里大学病院/聖マリアンナ医科大学病院/東海大学医学部附属病院/千葉大学医学部附属病院/群馬大学医学部附属病院/防衛医科大学校病院/亀田総合病院/順天堂大学医学部附属浦安病院/昭和大学横浜市北部病院/総合病院国保旭中央病院/松戸市立病院/君津中央病院/神奈川県立がんセンター

東京
 東京大学医学部附属病院/慶應義塾大学病院/東京都立駒込病院/聖路加国際病院/日本赤十字社医療センター/虎の門病院/東京都立府中病院/癌研有明病院

中部・信越地方
 藤田保健衛生大学病院/名古屋大学医学部附属病院/愛知医科大学病院/名古屋市立大学病院/富山大学附属病院/金沢大学附属病院/新潟大学医学部総合病院

近畿地方
 近畿大学医学部附属病院/兵庫医科大学病院/大阪市立大学医学部附属病院/大阪大学医学部附属病院/京都大学医学部附属病院/京都府立医科大学附属病院/神戸市立医療センター中央市民病院/大阪市立総合医療センター/神戸大学医学部附属病院/大阪厚生年金病院/大阪府立成人病センター/国立循環器病研究センター/大阪警察病院/兵庫県立がんセンター/淀川キリスト教病院

中国地方
 川崎医科大学附属病院/倉敷中央病院/岡山大学病院/鳥取大学医学部附属病院/広島大学病院/鳥根大学医学部附属病院/山口大学医学部附属病院/県立広島病院

四国地方
 愛媛大学医学部附属病院/高知大学医学部/徳島大学病院/香川県立中央病院/松山赤十字病院

九州地方
 久留米大学病院/福岡大学病院/九州大学病院/長崎大学医学部・歯学部附属病院/麻生飯塚病院/九州厚生年金病院/北九州市立医療センター/大分県立病院/沖縄県立南部医療センター・こども医療センター